

茂山あきら × 劇団かかし座

(狂言師)

(シャドウ・アート/手影絵/影絵)

正解は?! 正解は?!

茂山あきら(大蔵流狂言方)と劇団かかし座(影絵)による対話劇。

日本の古典芸能である狂言の様式に、舞台美術として独特の描写力と想像性を醸し出す

ハンドシャドウ・シルエット(影絵劇・手影絵)とが織りなすSFみたいな現代のお話。

アナログかつシンプルな「狂言様式の言葉」と「影絵の視覚的表現」で、

人間社会をコミカルでシュールに描く。人間の行動と深層心理の葛藤について、

アナログ発想の限界とデジタル文化のゆがみに迫る。

【京都】 THEATRE E9 KYOTO

8月2日(金) 18:30 開場 19:00 開演

8月3日(土) 12:30 開場 13:00 開演

8月3日(土) 16:30 開場 17:00 開演

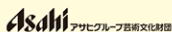
Theatre E9 Kyoto オープニングプログラム/茂山あきら特別公演

主催: 一般社団法人アーツシード京都

助成: 公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

芸術文化振興基金助成事業

京都府文化力チャレンジ補助事業(申請中)



【東京】 座・高円寺2

8月27日(火) 18:30 開場 19:00 開演

【京都】 全席自由 3,300円

【東京】 全席指定 一般 3,500円 小学生以下 2,000円

チケット発売: 6月10日(月) 10:00~

チケット取扱:

かかし座オフィシャルグッズショップ <https://kakashiza.thebase.in>

カンフェティ <https://www.confetti-web.com/>

0120-240-540 (平日10:00~18:00)

童司カンパニー 075-751-9046 (平日10:00~18:00)

E9 WEB(京都公演のみ) <https://askyoto.or.jp/e9/ticket/201903>



お問い合わせ: 童司カンパニー 075-751-9046 (平日10:00~18:00)

キャスト: 茂山あきら、劇団かかし座(石井世紀/松本侑子/梅原千尋)

脚本・構成・演出: 太宰久夫

音楽: 石川洋光 影絵プラン: 後藤圭 影絵製作: 劇団かかし座美術部

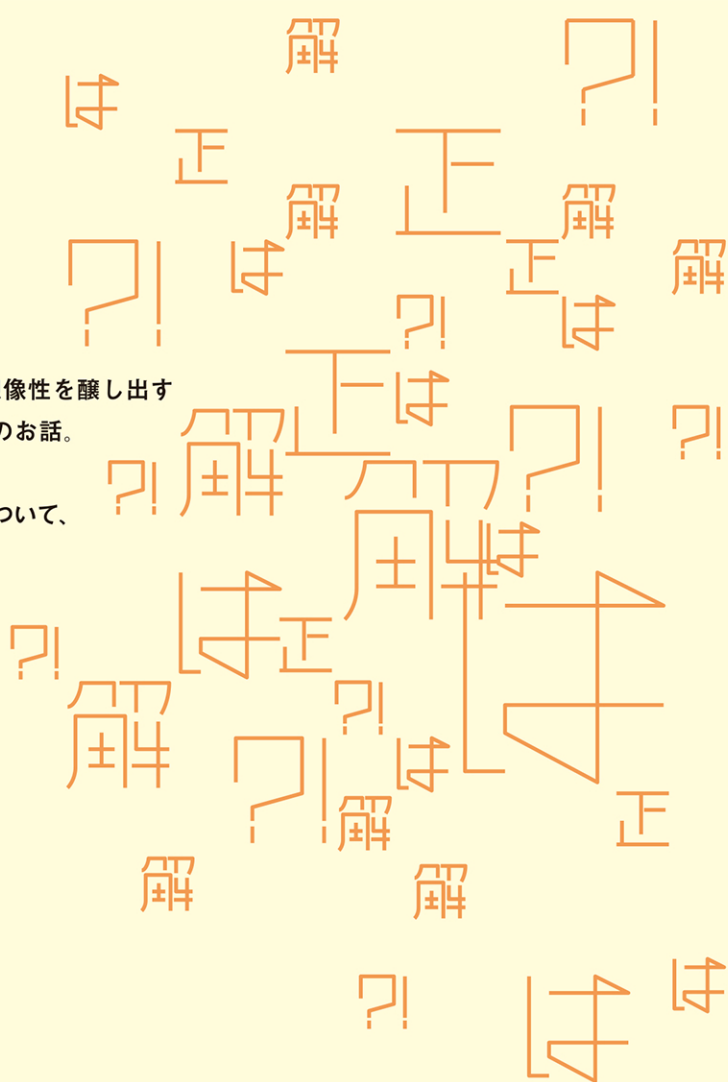
制作: 童司カンパニー 宣伝美術: 木村三晴 プロデューサー: 關秀哉

茂山あきら 大蔵流狂言方。3歳のとき『以呂波』のシテで初舞台を踏む。二世茂山千之丞のバイオニア精神を受け継ぎ、1981年に欧米の現代劇と日本の古典芸能を融合した「NOHO(能法)劇団」をジョナ・サルズと共に主宰、ベケットの不条理演劇などを上演。2001年より狂言と新作落語のコラボレーション<落言(らくげん)の会>「お米とお豆腐」を結成、全国津々浦々で活動中。その他オペラや新劇、パフォーマンスなどの企画・構成・演出なども手がけるマルチな舞台人間として日本中を飛び回っています。



劇団かかし座 日本で最初にできた影絵の専門劇団。1952年に後藤泰隆(とうたいりう)によって創立されました。影絵の世界は人々の心を無限の想像へ駆り立てる、ふしぎな性質と魅力をもっています。

この性質と魅力をもって「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで創立以来50年にわたりかかし座独自の手法で独特な影絵を、TV、映画、舞台、出版などを通じて提供し続けてきました。かかし座の影絵劇の特徴は大きく2つあります。1つは、繊細なデザインと柔らかい色調という美術的な特徴。もう1つは、せりふに録音を使わないという劇的な特徴です。そうした特徴を生かして、劇団かかし座は、一人一人の劇団員が元気に生き生きと演じ、それを見るものも楽しく生き生きしてくる、そんなステージを目指しています。



【京都】 THEATRE E9 KYOTO

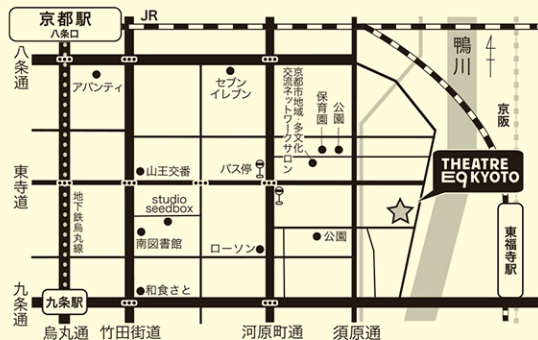
京都市南区東九条南河原町9-1 075-661-2515

◎[京都]駅八条口より徒歩14分

◎地下鉄「九条」駅より徒歩11分

◎JR・京阪「東福寺」駅より徒歩7分

◎京都市バス16・84系統「河原町東寺道」より徒歩3分



【東京】 座・高円寺2

杉並区高円寺北2-1-2 03-3223-7500

◎JR中央線「高円寺」駅北口から徒歩5分

